

第43回長野県消費者大会が開催されました！

11月22日（金）県消団連主催の「第43回長野県消費者大会」がホテルメトロポリタン長野（長野市）にて開催され、「世界の食料需給と日本」、「今改めて被災地から学ぶ～福島県の現状～」をテーマに、県下各地より160人が参加しました。

冒頭、重千富副会長より開会の挨拶、鵜飼照喜会長より主催者挨拶の後、ご来賓としてご出席いただいた加藤さゆり長野県副知事よりご挨拶をいただきました。

午前の部では、まず、基調報告として、県消団連の小松由人事務局長が「長野県消団連の取り組み」について報告を行い、続いて、福島県生協連合会専務理事の佐藤一夫氏より「今、改めて被災地から学ぶ～福島県の現状～」と題し、特別講演が行われました。被災から2年8カ月経過した現在の福島県の状況、復興の取組み、風評被害への粘り強い信頼回復の取組みなど具体的な現場で活動をされている方々の声を交えて、わかりやすくお話しいただきました。

午後の部では宮城大学食産業学部教授の三石誠司氏「世界の食料需給と日本」と題し、記念講演が行われ、世界の食料生産量から日本の輸入穀物の量の推移や世界の人口見通しと食と農の変化、「FOOD2040」プロジェクトが示す6つの洞察などを具体的な数値とわかりやすい具体例を使い、説明いただきました。また、三石氏の著書（空飛ぶ豚と海を渡るトウモロコシ『日経BPコンサルティング』）について紹介されました。

講演後には、会場からの多くの質問が出され、三石氏から回答をいただき、ご自身の幼少からの生い立ちから、大学時代のエピソードなどご紹介いただき、丁寧に説明をいただきました。

最後に、徳武淳副会長が閉会の挨拶を行いました。



鵜飼照喜会長



加藤さゆり副知事



佐藤一夫専務理事



三石誠司教授